

国立大学法人 福島大学

事業名	外国語による「福島県の魅力」案内パンフレットの作成事業			
実施期間	2011年10月～2012年3月			
場 所	福島県内各所(喜多方市山都町、福島市、北塩原村)			
参加者	外国人留学生	地域住民・企業等	その他	合計
	18 名	32 名	75 名	125 名

<実施内容>

福島県の魅力を体験できる旅行ツアーを4つしました。①「限界集落を訪ねる—藤巻体験ツアー：水の里の芸術」②「福島のかーちゃんたちのカーりんご農家で≪焼き肉のたれ作り≫」③「スキーだけじゃないぞ！雪の楽しみ方発見ツアー」④「福島でボランティア—被災地の現実を知り、福島の復興を手助けするツアー」の4つです。どれも、福島に住む人たちが、その魅力を海外に発信しようと、留学生との交流を目指して企画したオリジナル企画です。いまだ知られざる福島の魅力留学生の皆さんに体験してもらい、その経験をぜひ自国でアピールしてほしいと思っています。被災地福島のありのままの姿も見てもらう企画もありました。



写真脚注

「限界集落を訪ねる—藤巻体験ツアー：水の里の芸術」での一シーン。蕎麦の収穫。

<参加者からのコメント>

ウォン・チャン・ソプ(韓国)

(「限界集落を訪ねる—藤巻体験ツアー」に参加して)藤巻の今を体験して、自分の故郷の安城というところが何をやっているのか調べてみたくなりました。自分の故郷はいまどんな状況なんだろうと…とても気になるようになりました。一人でもなら永遠に来ることができない旅でした。まるで大自然の中に入った監事、大きな公園・動物園に来たような気持ちです。今回の企画のおかげで来ることができて楽しかったし、また藤巻というところをより知ることができ、これからの藤巻がどう変わるのかが楽しみです。またそのための力にもなりたいと思いました。

酒浩(中国)

(スキーだけじゃないぞ！雪の楽しみ方発見ツアーに参加して)福島の魅力が良く伝わりました。私たちの生まれるずっと前から存在するものを、少しずつ利用しながら楽しんでいる、それが福島の魅力ではないでしょうか。料理もおいしかったです。地元の住民の人たちに教わりながら体験できたのは貴重な経験でした。村ごとに郷土料理が残っていると。とても素晴らしいことだと思います。やさしいおばあちゃん(名人)の技に驚かされました！貴重な体験、ありがとうございました。